

活動報告 | 学長挨拶・会長挨拶・役員感想

お知らせ | 活動予定・懇談会のご案内

PICK UP | 各専攻・領域・コース後期授業の様子

学生生活 | 女子美祭・五美大展・JOSHIBISION・卒業制作展



女子美と学生を応援する 保護者と教職員の会 二ヶの会

2022 SPRING

第21号

news letter

JOSHIBI UNIVERSITY OF ART AND DESIGN

女子美術大学

女子美術大学 短期大学部

学長挨拶

ニケの会の皆様、日頃より本学の運営に対し、ご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。昨年に続きこの1年はコロナ感染症対策による規制された環境下での日常となりました。その中で迎えた卒業制作展は、意欲的かつ個性溢れる作品がならび学生たちの前向きな姿勢に心打たれました。新年度は積み重ねてきた実績を基に実技授業は対面で行います。また、実技授業であってもオンラインの有効性が勝っている場合にはブレンド型授業を取り

入れ、効果的な運営を計画しています。各地で開催されてきた懇談会は、地域の特性や学生個々に関するお話を伺える貴重な機会と捉えておりましたが、オンライン懇談会に切り替えての実施にご理解いただき交流が続いていること大変うれしく思っています。ニケの会の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

女子美術大学・女子美術大学短期大学部 学長 小倉 文子

会長挨拶

保護者の皆様、お嬢様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

新型コロナウイルスが騒がれるようになって3度目の春が来ました。当初は闇雲に恐れていたことも、時間の経過と共に知見を得て、新たなステージへ向かいつつあるように思います。我が娘達も、創立以来120年にわたる本学の長い歴史の中で数多の困難を乗り越えてきた先輩女子美生達のように

新しい時代を切り拓いていってくれることを願い、ニケの会は積極的に支援して参りたいと存じます。引き続き皆さまのご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2021年度ニケの会 会長 田中 賢仁
(デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻保護者)

ニケの会役員コメント

娘が付属中学時代から始まった私の女子美保護者会役員歴も気がつけば早9年。あっという間だったようにも感じますが、自分の母校と同じくらい愛着がある学校となりました。今後も女子美とニケの会の更なる発展を祈念しております。

田中 賢仁(会長)

新型コロナの影響で今年もリモート参加オンリーとなりましたが、モニターを通じ役員や校友室の皆さまと共に、ランチや生理衛生品等の学生支援に関する取組を進めることができました。今後も“学生ファースト”をモットーにニケの会がその役割をしっかりと担うことを期待します。

杉本 好重(副会長)

ニケの会の一員として、コロナという異例な期間はあったものの、美祭のニケカフェで女子美オリジナルどら焼き&サブレ等を声高らかに販売したり、地方の保護者懇談会に出席したり、様々な行事や活動に携われ、充実した貴重な時間を過ごせた事に感謝の気持ちで一杯です。

娘には、女子美で身につけた女子美らしさを誇りに羽ばたいて欲しいと願います。ありがとうございました。

山口 則子(庶務・会計)

我慢の1年、コロナが落ち着いたら対面でのイベントが開催できると信じて、在宅活動メインで我慢の一年でした。しかし、今までにない形の学生支援を実施するなど、新しいニケの会の方向性も発見できました。

中村 澄子(副会長・会計)

学科・専攻別オンライン懇談会に是非ご参加ください。オンラインによる専攻別懇談会が新たに始まりました。この懇談会はそれぞれの学科の専攻別にご担当の先生方が学科での取り組み、考え方等、また参加されました保護者のお嬢様のキャンパスでの様子、学科によりましてはお嬢様の作品の紹介とコメント等をいただき私達保護者にとりまして大変貴重で有意義な懇談会となっております。是非ご参加下さい。

遠藤 譲(庶務・会計監査)

コロナ禍により、オンラインで開催される会合に毎回楽しく参加させていただきました。先輩保護者の方々や事務局である大学の担当者様から、大学に関わる様々なお話を伺いでき、女子美のことがより身近に感じられる貴重な機会を得ることが出来ました。

関田 由美(庶務)

今年も親子共フルリモート。苦戦する娘を応援するも、自分はニケの会の役に立てず反省の一年でしたが、校友室皆様のお力により、ニケの会コロナ禍の学生支援に参加させていただけました。心から感謝申し上げます。

円満字 千代佳(庶務・会計監査)

月1回、茨城県から参加しました。直接大学に行くことはなかったのですが、オンラインで約1時間話し合いに参加しました。助成の話し合いでは、校内のトイレに生理用品を置くこと、卒業生のプレゼントにクリアファイルはどうか、という提案を採用していただいたことが嬉しかったです。いろいろなアイデアを出して新しい大学になるといいですね。応援しています。

武藤 明子(庶務)

新入生ながら役員に任命いただき参加させていただきました。コロナ禍で制約が多い中でも女子美生のためにと考えて来られた諸先輩方の様子がわかり、有意義な一年でした。

いち保護者としてもニケの会の皆様に感謝しております。

美和 詩子(庶務)

美術学科 洋画専攻
mixed-color.com



アートラボはしもとのクロージングイベントで、版画コース3年生が中心となり、地元市民の子供達を対象にしたワークショップを行いました。ワークショップでは参加者に思いの宝物を持参してもらい、それらをバックの上で構成し「青焼き」を使ってプリントしました。充実した内容となり盛況に終わることができました。

美術学科 立体アート専攻
www.s-art-joshihi.info



この度、第45回東京五美術大学連合卒業・修了制作展が2月26日から3月5日まで、六本木の国立新美術館で行われました。コロナ禍での展示ではありましたが、感染防止対策を講じ、人の流れを考慮して五つの大学合わせて一方通行の鑑賞ルートを設け、入口と出口を連動することで会場内の人数を把握し、安全に鑑賞していただけるように配慮いたしました。来場者は3万人にも登り、学生それぞれの力作を観ていただく貴重な機会となりました。

美術学科 日本画専攻
www.joshihi.net/nihonga



3年生は伊藤若冲筆・国宝「動植綵絵」の部分模写を行いました。原本の筆致・色調を目指し、天然岩絵具を焼いたり、混色・重色しながら制作します。基底材である絹は薄く透けるため、表と裏の両方に彩色することで奥深く複雑な表現が可能です。植物、鳥、昆虫、魚などの瑞々しい生命感を捉えた意欲作が生まれました。

美術学科 美術教育専攻
www.joshihi.net/kyoiku



4年生は2月上旬に横浜市民ギャラリーで学外卒業制作展を行いました。教育実習や卒業制作の作品に取り組みながら、ギャラリー探しをはじめ、いくつかのギャラリーの下見をし、自分たちの展示会の準備を進めてきました。卒業制作は美術学科の洋画、版画、日本画、立体アートのいずれかで一年間、各専攻の学生と共に学びます。それぞれが制作した作品を持ち寄って、彩りある展示会となりました。

美術学科 芸術文化専攻
www.joshihi.net/cac



新型コロナウイルスの影響で延期になっていた「古美術研究旅行(奈良・京都)」に4年生が参加しました。例年より少し短い期間での実施とはなりましたが、とても楽しんでいる様子でした。女子美生だから入らせていただけるお堂などが多数あったため、学生たちは貴重な体験だったと感じているようです。

デザイン・工芸学科 環境デザイン専攻
kankyo.joshihi.net



相模大野ステーションスクエア桜の木の隣に設置されたグランドピアノ周辺デザインを、環境デザイン専攻3年有志学生が手掛けました。「Hop Step Jump」をテーマに、うさぎたちが新しく訪れる春を祝う様子を表現しており、新しい出会いや目標に向かう、さまざまな方へ祝福やエールを贈るという想いが込められています。

デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻
www.joshihi.net/dc/visual



客員教授の奥村靱正先生をお招きし、特別講義(1~4年次)を行いました。2021年の課題は「PLASTIC」。学生たちは現代における社会を背景に、それぞれの表現方法で課題に取り組みました。奥村先生からの講評は貴重な経験となり、今後の創作活動に良い刺激となりました。

デザイン・工芸学科 プロダクトデザイン専攻
joshihi-product.com



プロダクトデザイン専攻3年生の課題「ライフスタイルデザイン」この課題では身の回りや世界で起こっていることを理解し、暮らしが豊かになる解決方法(デザイン)を見つけます。各々が自分の制作物の機能や使われるシーンを設定し模索しながら作品制作を行うことで、大きなスキルアップへと繋がりました。

デザイン・工芸学科 工芸専攻
joshihi-crafts.net



世界のファッションリーダー・レディーガガの「ヒールレスシューズ」を制作するアーティスト館鼻則孝先生による授業です。これまでの制作活動、日本の伝統工芸やモノづくり、さらに未来のファッションやアートのお話はとても興味深いです。特に毎年の卒業制作講評会は、卒業後の制作の励みとなる有意義な時間です。

杉並キャンパス

アート・デザイン表現学科 **メディア表現領域**
www.joshibi.net/media



3年メディアアート演習IIBでは、電子回路やプログラミングなどの先端技術を駆使したインタラクションを伴うメディアアート作品を制作しました。制作には3Dプリンター、レーザーカッターなどの工作機械も使用し、たくさんの技術にチャレンジする授業となりました。

アート・デザイン表現学科 **ヒーリング表現領域**
www.joshibi-healing.net

稲見百香さんの卒業制作
「じわる! マッスルぴよ先生」(ぬいぐるみ×ロボット)



4年の前期では、卒業制作に向けた準備授業「ヒーリング・クリエイション」を通して各自の研究テーマを見つけ、さらに深めてゆきます。後期の「卒業制作」では前期で取り組んだ研究を、ゼミ担当教員のもとで作品化してゆきます。2021年度は感染症対策をしっかりと講じた上で、遠隔と対面を併用しながら制作を進めました。

アート・デザイン表現学科 **アートプロデュース表現領域**
www.j-ad-ap.com



毎年恒例の卒業・修了年次の学部・大学院生合同での展覧会をギャラリーニケと自教室にて開催しました(会期:1月14日(金)~26日(日))。今年度のテーマは「純な混沌」。それぞれの研究・作品制作に加え、展覧会全体の企画、コンセプトの設定、展示計画、バナー、キャプション制作にいたるまで、アートプロデュースの集大成として全員で展覧会の実施・運営をしました。展覧会オープン前日には各自のプレゼンテーションと、ゲスト講師による講習会を行いました。

アート・デザイン表現学科 **ファッションテキスタイル表現領域**
joshibi-ft.com



3年生13名が産学連携授業として、再生ポリエステルを用いた循環型ファッションプロジェクト(伊藤忠商事株式会社)とシャツのデザイン開発(ORIHICA)に参加しました。各チームの循環型可能な方法と試作品は、高い評価をいただき、ORIHICAでは2名2型のデザインが採用され4月上旬よりweb限定販売されています。

短大 **美術コース**
joshibi-tandai.net



1年生の授業「造形思考1」は画面構成について学ぶ授業です。用意した画像資料をもとにテーマに合わせた構成を考え、学生一人ひとりと教員がテーマにあった画面構成について下絵をチェックしながら進めます。テーマを伝えることに苦戦しながらもオリジナリティ溢れる画面が出揃う授業となりました。

短大 **デザインコース**
joshibi-tandai.net



短大デザインコースグラフィックでは、1年後期と2年前期に活版印刷工房でタイポグラフィを学ぶ授業があります。コロナ禍でも少人数に分けて実施しています。一字ずつ活字を拾い、植字、本刷り、解版まで一連の作業工程を学びながら制作します。活字と向き合う経験は、今後グラフィックデザインの中で活かされていきます。

お知らせ

2022年度 総会・教員との懇談会

申込み締切 5/23日17時

6月4日土 オンライン(ZOOM)開催

総会 13:00~

女子美術大学ニケの会の活動についてご報告し、今後の計画等をご審議いただきます。

新入生・在学生の保護者の皆様どなたでもご参加できます。

申込みフォーム

<https://forms.gle/hwWEpbNdvE NKLKXSX9>



昨年度に引き続きオンライン (Zoom会議システム使用) オンラインにて開催いたします。

教員との懇談会 14:00~

今年度の実技授業は原則対面授業を実施しております。授業の内容により遠隔授業を組み合わせたブレンド型授業や遠隔授業も効果的に活用する方針でスタートいたしました。

この懇談会は、そんな大学生生活の様子を各専攻の先生方よりお伝えいたします。新入生の保護者の皆様にとっては、美術大学での学生生活が良くわかり不安解消の一助になることと思います。

学科・専攻別 オンライン懇談会

昨年度と同様に、学科・専攻別(美術学科、デザイン工芸学科、アート・デザイン表現学科、短期大学部)のオンライン懇談会を秋以降開催予定です。詳細決まり次第お知らせいたしますので、参加希望の方、興味のある方は、下記の申込みフォームから申し込みください。ご登録いただいた方には、決まり次第、メールにてご案内いたします。

申込みフォーム

<https://forms.gle/wHiK1ojm2gP ZJ27B8>



女子美と学生を応援する 保護者と教職員の会 ニケの会とは



女子美術大学ニケの会とは「学生の父母、保護者が中心となり、大学と協力して学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与し、会員相互の親睦と教養を深めること」を目的としています。その目的を達成するために、次のような事業を行っています。

- 学生への助成
- 懇談会開催
- 会員交流イベント
- ホームページやメールでの情報提供
- 年2回会報誌発行
- 特別聴講
- 等々

活動報告

学食ランチ衝撃 price!

去年の12月6日~24日までの期間限定で学食ランチを300円引きにする衝撃的なpriceの提供を行いました。



生理用品無料提供サービス

ニケの会と大学で協力して、生理用品無料提供サービス「OiTr(オイテル)」を開始いたしました! 両キャンパスに12台ずつ設置いたしました。



卒業記念品プレゼント

今年度はマスクケースとJノートに加え、学生デザインルームにご協力いただき、卒業記念品を企画・製作していただきました。



学生生活

女子美祭2021

2021年10月22日(金)～24日(日)

昨年度から引き続きオンラインのみ開催となりました。

公式WEBサイト



美祭ポスター



女子美祭テーマ「トロピカル」
短期大学部デザインコース
松浦 藍さんの作品

美祭フリーペーパー



「PLASTIC(プラスチック)」をテーマに
学生が作品を制作
↓

同時開催 特別講義



令和3年度 第45回 東京五美術大学連合卒業・修了制作展

2022年2月26日(土)～3月5日(日)

東京・六本木にある国立新美術館にて開催。
今年度はオンライン配信企画として、「座談会—学生たちがとことん話す、
私たちのリアル—」や「ぶらぶら五美大展」も開催しました。

JOSHIBISION 2021 —アタシの明日—

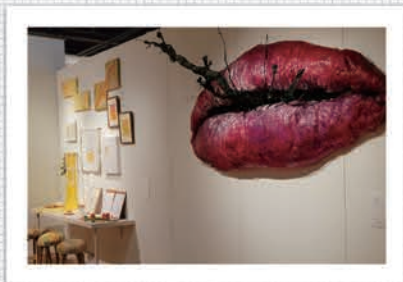
女子美術大学(大学院、大学、短期大学部)学生選抜作品展
2022年3月1日(火)～3月5日(日)

東京・上野にある東京都美術館で開催。
各専攻より選抜された作品38点が展示されました。

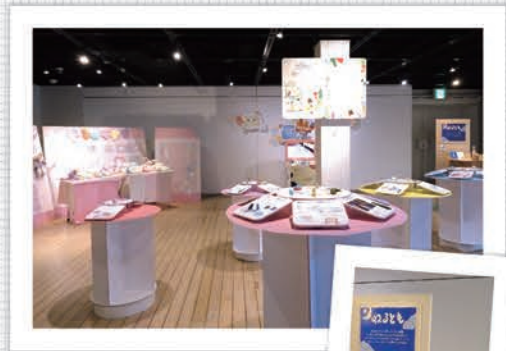


学外卒業制作展紹介

まん延防止重点措置中の開催でしたが、それぞれ感染防止対策を取っての開催となりました！



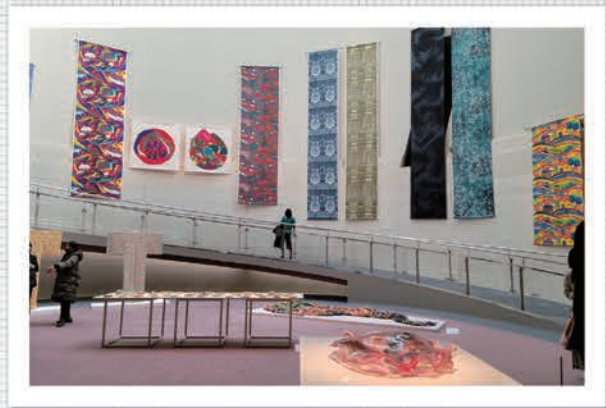
短期大学部デザインコース
テキスタイルデザイン
卒業・修了制作学外展
2022年2月10日(木)~2月13日(日)
東京・六本木 AXIS GALLERYにて開催。



プロダクトデザイン専攻
卒業制作展 2022
2022年2月19日(土)~21日(月)
神奈川・横浜赤レンガ倉庫1号館
2F スペースABCにて開催。



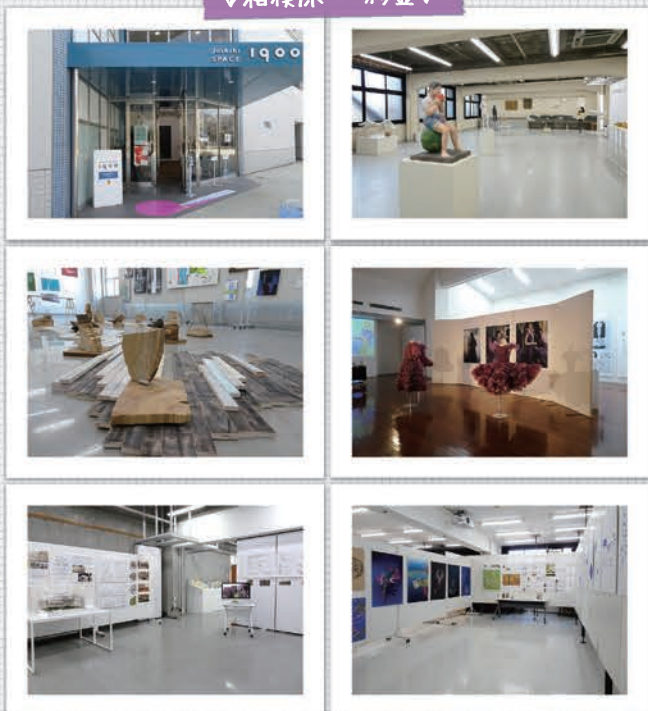
工芸専攻
卒業制作展 2022
「5senses」
2022年2月11日(金)~2月15日(火)
東京・青山にあるスパイラル
ガーデンにて開催。



2021年度卒業制作 / 修了制作展 2022年3月11日(金)~3月13日(日)

杉並キャンパス、相模原キャンパスにて開催。
一般の方や、多くの保護者の方にも卒業(修了)制作を見ていただく
ことができました。

↓相模原 杉並↓



令和3年度学位・修了証書授与式 2022年3月13日(日)

昨年度に引き続き、各キャンパスにて、学科ごとに実施しました。同時に
オンライン配信も行いました。日曜日ということもあり、保護者の方も
キャンパス内のライブ配信教室にて視聴されていました。
図書館前では、専攻ごとに記念撮影をしていました。



←相模原 杉並↓



ニケの会 役員・サポーター募集

ニケの会では、役員・サポーターを募集しています。

月に1回の役員会も現在オンラインで実施していますので、遠方の方でもご参加いただけます。大学の情報をいち早くお届けできますので、興味のある方、お手伝いいただける方は、ニケの会事務局までご連絡ください。



✉ メールアドレス登録のお願い

メールアドレスをご登録いただくと、本学のキャリア支援の情報やニケの会の活動のご案内や特別聴講などの情報をいち早くお届けします。ぜひ、ご登録ください。

1

QRコードから
メール送信



2

登録完了の
メールアドレスが届く



- 登録完了メールが送信されます。
- ご登録いただいたメールアドレスは、@venus.joshibi.jpのメールが受信できるように設定をお願いします。
- ご登録いただきました個人情報につきましては、厳重に管理させていただき、ニケの会の活動案内等の目的以外には利用いたしません。